



RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE

2025.9.1



みなさん、こんにちは。

ボランティアコーディネーターの齋藤です。

夏休みも折り返し地点を過ぎまして、追い立てられるように9月を迎えました。夏休み気分のままでいたいところですが、目を擦ると秋学期のスタート地点が見えてきそうです。

さて私は、8/19(火)～22日(金)の3泊4日で、石川県七尾市和倉地域に行ってきました。昨年7月にスタートさせた「立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト(令和6年能登半島地震)」も、今回で第4弾。メンバーの中には、昨夏の第2弾に参加した学生も複数おり、活動先の方々と久しぶりの再会を果たしていました。初めて出会った時の表情とは少し違った、照れくさそうに名前を呼び合うその様子はなんとも微笑ましく、このプロジェクトがたしかに歩んできた道のりを、改めて確認できたように感じます。

現地での活動の大部分を占めたのは、公費解体を待つ旅館での備品移動作業でした。館内にある備品を「保存して活用するもの」「業者に販売するもの」そして、「廃棄するもの」に分けて運んでいくのですが、一緒に活動したスタッフの方々は別れを惜しむように、その一つひとつに対する思い出を語ってくれました。それでも、仕分けが進み、目の前にある備品が少なくなっていくことが、復旧・復興に向けて“前に進んでいる”ことを証明してくれるのです。そしてこの先にあるのが、公費解体。今ある旅館の建物の大部分が解体され、失くなります。ここでもまた、失くなることで前に進んでいることを確かめられるわけですが、その喜びが悲しみや寂しさ、喪失感などが入り混じったものであることは間違いありません。

何かが生まれ変わる、新しくなることには、これまで当たり前にあったものを失うという経験を伴います。手放して喜べない、それでも小さな足跡を確認しないと自分たちの今を肯定できない。そんな割り切れない中での暮らしが、今もなお、そしてこれからまだまだ続いていきます。そうだとしたら、私たち立教チームには何ができるのでしょうか。

何かが失くなるということだけでなく、何かが生まれること、そして何かがたしかに残っていることを共に確かめ合うことができるように、独自の取り組み『わくらDiary』を行っています。10月には今回の活動の報告会を開催する予定です。ぜひ詳細を聞きに来てください。

そして、現地の方々が和倉という地域への愛着を脱ぎ捨てることのないように、大事にしてきたものを同じように大事にできる日常を再び迎えられるように、これからも関わり続けていけたらと思っています。

齋藤 元気
(ボランティアコーディネーター)

各コンテンツの詳細や写真は、ボランティアセンター公式【note】からご覧ください！

https://note.com/rikkyo_volunteer/n/n74564476321b?sub_rt=share_pw

**** 今月のCONTENTS ****

■ ボランティアセンターからのお知らせ

【1】(再掲)2025年度「ポール・ラッシュ博士記念奨学金」の募集要項を公開しました！9月には、募集説明会も開催！

【2】メディア等への掲載情報

【3】(再掲)ボランティアセンター 夏季休業期間中(8/1～9/19)の開室日時について

【4】(再掲)「東京2025デフリンピック」の開催まで、あと少し！

■ RSLセンターからのお知らせ

立教サービスラーニング(RSL)センター・秋学期科目履修のススメ

＜おすすめ秋学期講義系科目＞

＜おすすめ秋学期実践系科目＞

■ 陸前高田サテライト事務局からのお知らせ

■ ■ ■ 巻末コラム ■ ■ ■

こんにちは。暑い日が続いておりますが、夏バテなどされていませんか。

1年生にとっては大学生になって初めての・・・4年生にとっては最後の夏休みですが、いかがお過ごしでしょうか。

大学生にとっての夏休みは、春学期中に学んだことのふり返りはもちろん、趣味・旅行・アルバイト・ボランティアなどに没頭し、様々な活動を通して、大学生活を充実させることができる多くの可能性を秘めた特別な期間だと思います。

さて、皆さんは立教大学が「自由の学府」と呼ばれていることをご存知でしょうか。自らの興味・関心に従って真理を探究するのが大学での「学び」です。新たな知識や文化を吸収し、他者と関わることで自分の考え方や世界観は変わっていきます。「自由」であるためには自律性や主体性を持たねばなりません、それさえあれば「挑戦する自由」、「失敗する自由」、「やり直す自由」・・・様々な「自由」が保障されている大学だと思います。

夏休みを何となく過ごしてしまった人も、まだ秋学期が始まるまで3週間ありますので、大学生の特権とも言えるこの期間を活用して是非色々なことにチャレンジしてみてください！
充実した夏休みになりますようお祈りしています。

(立教大学総長室社会連携教育課・課長 三浦 圭介)

立教大学ボランティアセンター

池袋キャンパス(5号館1階)・新座キャンパス(7号館2階)

開室時間: 月～金 9:00～17:00

▼ボラセンWebページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

▼メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

▼X(@rikkyo_volucen)

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

▼Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

▼note

https://note.com/rikkyo_volunteer/

▼YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCo5eBf_CcveSsRAccG5rrzw

配信停止を希望の場合は以下のGoogle Formを送信してください

<https://forms.gle/PRuubMtYvuHVfKoG8>

(C)2019 RVC all rights reserved.
